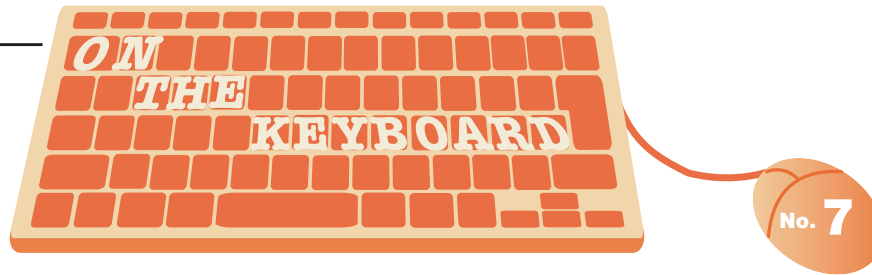


By Maya Jones



マヤ・ジョーンズ

1994年、英国・イングランド南東に位置するハンプシャー州生まれ。父親が英国人、母親がコロンビア人という家庭で育ち、幼少期から外国語と異文化に興味を抱く。2021年、ロンドン大学卒。専攻は日本語。在学中に来日し、1年間、東京外国語大学で学んだ。英国で開催された大学生対象の日本語スピーチコンテストで優勝するなど、卓越した日本語力を生かし、22年9月から東京都大田区の「おおた国際交流センター(Minto Ota)」で国際交流員として多文化共生を促進する仕事に従事している。趣味は絵画、写真、旅行、音楽・美術鑑賞など多岐にわたる。

Compromise is key to surviving differences in cross-cultural relationships

My mother always **advised me against** entering an international marriage — she said that if I settled down in the United Kingdom, I would have an easier life.

I always thought that this was somewhat **closed-minded**, and I didn't understand why she would say such a thing when her own international marriage had been so successful. Still, after moving across the world to live in Japan, I am starting to understand what she meant.

Moving to an entirely different country, especially one with a

vastly different language and culture, poses a significant challenge **in and of itself**. By marrying someone from that country, you **commit yourself to** a number of potentially permanent changes.

Having lived in England for so many years, my mother now feels as if she is an outsider both in her country of birth and in the country where she has now spent most of her life.

Her words were not a critique of international marriage, but an acknowledgement of the sacrifice and hardship that accompanies

it. A great deal of **perseverance**, patience and compromise is required on both sides.

That being said, if you **find yourself in** a cross-cultural relationship, don't feel that you need to **tolerate** a partner's disappointing behavior by **attributing** it to cultural difference.

It's perfectly fine not to compromise on everything; **staying true to** your values and communicating your boundaries is just as important.

If you are able to **strike the right balance**, you just might open the

door to a world of new adventure!

音声は本文と一部異なる場合があります。

advise(d)...against
～しないよう忠告してきた

closed-minded
視野が狭い

vastly
大いに、非常に

in...itself
それ自体、それだけで

commit...to
～に身を委ねる

perseverance
忍耐力、不屈の努力

That being said
そうは言っても

find...in
自分が～にあると気付く、気が付くと～である

tolerate
～を大目に見る、許容する

attribute(-ing)
(to 以下の)せいにする、～に起因する

stay(ing) true to
～に忠実であり続ける

strike...balance
うまく両立させる、バランスを取る

対訳

妥協が異文化交際の不和を乗り越えるカギです

母は常々、国際結婚はすべきでないと私に忠告してきました。英国で身を固めれば、より楽な人生が送れると。

それは視野が狭い考えだと、私はいつも思っていました。彼女自身の国際結婚がこれだけ成功しているのに、なぜそんなことを言うのか理解できませんでした。でも、日本に住むために世界を横断した今、母が何を言おうとしていたのかを理解し始めています。

何もかもが違う国に移り住むのは、特に母国と非常に異なる言語と文化を持つ国に移り住むのは、それ自体が大きな挑戦です。その国の誰かと結婚することで、生涯にわたって続く可能性のある多くの変化に身を委ねることになります。

英国に長年暮らしてきた母は、自分の生まれた国と、今や人生のほとんどを過ごし

てきた国の両方で、部外者であるかのように感じています。

彼女の言葉は国際結婚への批判ではなく、それに伴う犠牲と困難を確認するものでした。大変な努力と忍耐、妥協がどちらの側にも求められるのです。

そうは言っても、もし異文化間の交際をすることになったとき、相手のがっかりする行動を、文化の違いのせいだから我慢しなければとは感じないでください。

全てについて妥協しなくても何ら問題はありません。自分の価値観に忠実にあり続け、譲れないところを相手に伝えることも同じくらい重要です。

うまく両立できたなら、新たな冒険世界への扉を開けることになるかもしれません！

(田端 節子)